



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年8月10日

上場会社名 株式会社ミズホメディー 上場取引所 東
 コード番号 4595 URL <https://www.mizuho-m.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 唐川 文成
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経理部長兼総務部担当 (氏名) 佐々木 寛 (TEL) 0942-85-0303
 四半期報告書提出予定日 2021年8月10日 配当支払開始予定日 2021年9月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	6,353	282.1	3,124	—	3,128	—	2,296	—
2020年12月期第2四半期	1,663	△41.6	△129	—	△129	—	△93	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年12月期第2四半期	241.09		—					
2020年12月期第2四半期	△9.84		—					

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	9,785	5,984	61.2
2020年12月期	6,051	3,783	62.5

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 5,984百万円 2020年12月期 3,783百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2021年12月期	—	50.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	60.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2021年12月期の配当予想につきましては、本日(2021年8月10日)公表いたしました「2021年12月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 2021年12月期の業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,358	170.1	4,747	—	4,751	—	3,486	—	366.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2021年12月期の業績予想につきましては、本日(2021年8月10日)公表いたしました「2021年12月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年12月期2Q	9,525,600株	2020年12月期	9,525,600株
-------------	------------	-----------	------------

② 期末自己株式数

2021年12月期2Q	1,130株	2020年12月期	1,018株
-------------	--------	-----------	--------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年12月期2Q	9,524,511株	2020年12月期2Q	9,524,582株
-------------	------------	-------------	------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料につきましては、決算発表と同時にTDnet及び当社ホームページで開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により国民生活や企業活動も大きな影響を受け続けました。冬場の第3波、春の第4波に続く第5波は、感染力が強いとされる変異株により大都市圏を中心として感染者数が増加しており、ワクチン接種は医療従事者等や高齢者から順次進んでいるものの、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

体外診断用医薬品業界におきましては、2019年末に発生した新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、新型コロナウイルスの遺伝子検査や抗原検査等の検査需要は急激に高まる一方で、インフルエンザウイルスをはじめとした既存の感染症は、受診控えの影響により検査需要が減少するという影響を受けました。当第2四半期累計期間におきましては、既存の感染症の検査需要は徐々に回復傾向を示しているものの、新型コロナウイルス感染症は、変異株による再拡大を繰り返すなどその影響は継続しております。今後につきましては、新型コロナウイルス感染症はワクチン接種の幅広い年代への普及に伴い収束に向かうことが期待されますが、既存の感染症全般の需要回復までには若干の時間を要するものと考えられます。

このようななか、当社は、2021年初めより「全自動遺伝子解析装置 Smart Gene」の出荷を再開し、累計販売台数の増加に伴い需要が増加した「スマートジーン SARS-CoV-2」の安定供給に注力いたしました。また、2021年3月より、高感度感染症迅速診断システム「クイックチェイサー Immuno Reader シリーズ」の専用試薬として、新型コロナウイルス抗原キット「クイックチェイサー Auto SARS-CoV-2」の発売を開始いたしました。さらに、同年4月より、クイックチェイサーシリーズの専用機器として検査結果を自動で判定できるデンシトメトリー分析装置「スマートQCリーダー」の発売を開始いたしました。

このような環境下におきまして、当第2四半期累計期間の売上高は63億53百万円(前年同期比282.1%増)となりました。

当社は、体外診断用医薬品事業の単一セグメントであります。市場分野別の売上高は、以下のとおりであります。

病院・開業医分野におきましては、2020/2021シーズンのインフルエンザの流行は、海外の状況と同様に異例の低水準となりました。この要因として、新型コロナウイルスへの感染予防対策や渡航制限による海外との人的交流の減少が、インフルエンザの感染拡大防止にも奏功したといわれております。この影響により、出荷額より返品額が上回り、インフルエンザ検査薬全体の売上高は、△1億2百万円(前年同期は5億85百万円)と大幅な減収となりました。

新型コロナウイルス検査薬(遺伝子検査及び抗原検査)につきましては、「全自動遺伝子解析装置 Smart Gene」の年初からの出荷再開に伴い累計販売台数が増加するなか、「スマートジーン SARS-CoV-2」は、感染拡大の影響も受けながら、約58万テスト(4月～6月は40万テスト)を出荷しました。また、3月より発売開始した新型コロナウイルス抗原キットも順調に推移し、新型コロナウイルス検査薬全体の売上高は、46億75百万円となりました。

その他感染症項目の検査薬につきましては、第1四半期においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により感染症全般の検査需要への影響は残りましたが、第2四半期においては、売上高は第1四半期と比較し全般的に増加傾向を示しました。また、RSウイルスの季節外れの大流行により、RSウイルス検査薬及びRSウイルス/ヒトメタニューモウイルス検査薬の売上高は大幅に増加しました。一方、「全自動遺伝子解析装置 Smart Gene」につきましては、約3,000台を販売し、累計販売台数は約4,000台となりました。これらの結果、その他感染症項目の検査薬を含むその他の検査薬及び機器全体の売上高は、15億58百万円(前年同期比73.5%増)となりました。

以上により、病院・開業医分野全体の売上高は、61億31百万円(前年同期比313.1%増)となりました。

OTC・その他分野におきましては、妊娠検査薬及び排卵日検査薬は、主に新型コロナウイルス感染症の影響が減少したこと等により、OTC・その他分野全体の売上高は、2億22百万円(前年同期比24.3%増)となりました。

利益面につきましては、遺伝子POCTをはじめとした新製品に係る研究開発費の増加、インフルエンザ検査薬に係るたな卸資産評価損及び返品調整引当金繰入額の計上があったものの、主に「スマートジーン SARS-CoV-2」の大幅な増収に伴う売上総利益の増加の影響により、営業利益は31億24百万円(前年同期は営業損失1億29百万円)、経常利益は31億28百万円(前年同期は経常損失1億29百万円)となりました。なお、新型コロナウイルス感染症対策の一環として公募され、感染症検査キット等生産設備の導入支援として交付された補助金収入等91百万円を特別利益に計上しております。この結果、四半期純利益は22億96百万円(前年同期は四半期純損失93百万円)となりました。

インフルエンザ検査薬は、過去7年ほどにわたり、当社の売上高の約50%を占める主力製品でありました。しかし、2019年末に発生した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、インフルエンザの流行規模は著しく低い水準に抑えられ、2020年第1四半期よりインフルエンザ検査薬の売上高は大幅に減少しております。

一方、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、遺伝子検査の需要が急激に高まるなか、2020年第3四半期より発売を開始した「スマートジーン新型コロナウイルス検出試薬（現 スマートジーン SARS-CoV-2）」の売上高が急激に増加しております。結果として、インフルエンザ検査薬への依存度が低下し、新型コロナウイルス検査薬への依存度が高まる状況となっております。今後の新型コロナウイルス感染症拡大の動向、政府・自治体等による感染拡大防止策、あるいは医療・検査体制の変化などの外的要因によって、本検査薬の需要が大きく左右される可能性があります。

当事業年度（第45期）の四半期会計期間ごとの売上高及び営業利益は、以下のとおりであります。

第45期（2021年12月期）の四半期会計期間ごとの売上高及び営業利益

（単位：百万円）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第45期 合計
売上高	2,443	3,910	—	—	6,353
内 インフルエンザ検査薬	△34	△68	—	—	△102
内 新型コロナウイルス検査薬	1,557	3,118	—	—	4,675
営業利益	877	2,246	—	—	3,124

（ご参考） 直近2事業年度の四半期会計期間ごとの売上高及び営業利益又は営業損失

第44期（2020年12月期）

（単位：百万円）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第44期 合計
売上高	1,052	610	828	1,714	4,205
内 インフルエンザ検査薬	420	165	30	134	750
内 新型コロナウイルス検査薬	—	—	249	1,020	1,270
営業利益又は営業損失(△)	△1	△127	△109	655	416

第43期（2019年12月期）

（単位：百万円）

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第43期 合計
売上高	1,816	1,030	1,282	2,297	6,427
内 インフルエンザ検査薬	1,169	172	409	1,444	3,196
営業利益	382	52	95	580	1,111

(注) インフルエンザ検査薬には、「クイックチェイサー Flu A,B」、「クイックチェイサー Auto Flu A,B」及び富士フイルム株式会社向け機器試薬システムの試薬が含まれております。新型コロナウイルス検査薬には、「スマートジーン新型コロナウイルス検出試薬（現 スマートジーン SARS-CoV-2）」、「クイックチェイサー Auto SARS-CoV-2」及び富士フイルム株式会社向け機器試薬システムの試薬が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産の残高は、前事業年度末に比べ37億34百万円増加し、97億85百万円となりました。これは主に、たな卸資産の減少1億41百万円があったものの、売掛金の増加22億85百万円、現金及び預金の増加9億85百万円及び電子記録債権の増加4億44百万円があったことによるものであります。

当第2四半期会計期間末における負債の残高は、前事業年度末に比べ15億33百万円増加し、38億1百万円となりました。これは主に、未払法人税等の増加9億43百万円、電子記録債務の増加3億90百万円、買掛金の増加1億42百万円及び流動負債のその他に含まれている未払消費税等の増加1億21百万円があったことによるものであります。

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、前事業年度末に比べ22億円増加し、59億84百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加22億1百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ9億85百万円増加し、10億39百万円となりました。当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における営業活動により増加した資金は、13億42百万円（前年同四半期は9億37百万円の増加）となりました。これは主に、売上債権の増加27億29百万円及び法人税等の支払90百万円によるキャッシュ・フローの減少があったものの、税引前四半期純利益32億20百万円、仕入債務の増加5億31百万円、たな卸資産の減少1億41百万円、未払消費税等の増加1億21百万円、減価償却費86百万円及び返品調整引当金の増加76百万円によるキャッシュ・フローの増加があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動により減少した資金は、1億11百万円（前年同四半期は72百万円の減少）となりました。これは主に、有形固定資産の取得1億8百万円によるキャッシュ・フローの減少があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動により減少した資金は、2億45百万円（前年同四半期は3億71百万円の減少）となりました。これは、配当金の支払95百万円、短期借入金の減少80百万円及び長期借入金の返済69百万円によるキャッシュ・フローの減少があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間の実績及び最近の動向を踏まえ、2021年5月10日に公表いたしました2021年12月期通期の業績予想及び配当予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2021年8月10日）別途公表いたしました「2021年12月期第2四半期累計期間の業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想の修正並びに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	54,312	1,039,716
売掛金	1,885,801	4,170,808
電子記録債権	157,549	601,758
商品及び製品	817,894	597,490
仕掛品	244,185	310,109
原材料	393,040	405,724
その他	94,192	183,314
貸倒引当金	△884	△2,010
流動資産合計	3,646,091	7,306,910
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	965,547	944,862
土地	749,151	749,151
その他（純額）	413,006	428,666
有形固定資産合計	2,127,705	2,122,680
無形固定資産	12,415	14,066
投資その他の資産	265,545	342,337
固定資産合計	2,405,666	2,479,084
資産合計	6,051,757	9,785,995

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年12月31日)	当第2四半期会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	214,590	357,279
電子記録債務	85,227	475,323
短期借入金	219,992	139,992
未払法人税等	105,911	1,049,247
賞与引当金	29,791	30,163
返品調整引当金	4,289	80,372
その他	464,270	568,920
流動負債合計	1,124,071	2,701,298
固定負債		
長期借入金	373,352	303,356
退職給付引当金	252,189	248,856
役員退職慰労引当金	518,509	548,179
固定負債合計	1,144,050	1,100,392
負債合計	2,268,122	3,801,691
純資産の部		
株主資本		
資本金	464,548	464,548
資本剰余金	274,548	274,548
利益剰余金	3,045,817	5,246,846
自己株式	△1,548	△1,841
株主資本合計	3,783,365	5,984,102
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	269	202
評価・換算差額等合計	269	202
純資産合計	3,783,635	5,984,304
負債純資産合計	6,051,757	9,785,995

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自2021年1月1日 至2021年6月30日)
売上高	1,663,085	6,353,991
売上原価	640,212	1,786,391
売上総利益	1,022,873	4,567,600
返品調整引当金戻入額	589	—
返品調整引当金繰入額	—	76,083
差引売上総利益	1,023,463	4,491,516
販売費及び一般管理費	1,152,751	1,366,687
営業利益又は営業損失(△)	△129,288	3,124,829
営業外収益		
受取利息及び配当金	14	1,751
受取手数料	109	104
生命保険配当金	434	462
為替差益	—	458
受取補償金	—	1,795
その他	412	222
営業外収益合計	971	4,795
営業外費用		
支払利息	1,108	902
為替差損	262	—
営業外費用合計	1,370	902
経常利益又は経常損失(△)	△129,687	3,128,722
特別利益		
補助金収入	—	91,415
特別利益合計	—	91,415
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△129,687	3,220,138
法人税、住民税及び事業税	959	1,000,552
法人税等調整額	△36,901	△76,689
法人税等合計	△35,941	923,863
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△93,745	2,296,275

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△129,687	3,220,138
減価償却費	101,954	86,269
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△869	1,125
賞与引当金の増減額 (△は減少)	489	372
返品調整引当金の増減額 (△は減少)	△589	76,083
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,385	△3,332
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	12,045	29,669
受取利息及び受取配当金	△14	△1,751
支払利息	1,108	902
補助金収入	—	△91,415
売上債権の増減額 (△は増加)	1,852,223	△2,729,215
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△285,083	141,796
仕入債務の増減額 (△は減少)	△79,884	531,960
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△86,699	121,084
未払金の増減額 (△は減少)	△102,759	43,053
未払費用の増減額 (△は減少)	△82,443	△38,818
その他	△45,811	△47,541
小計	1,157,361	1,340,380
利息及び配当金の受取額	14	1,751
利息の支払額	△1,098	△847
補助金の受取額	—	91,415
法人税等の支払額	△218,757	△90,305
営業活動によるキャッシュ・フロー	937,520	1,342,395
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△71,447	△108,099
無形固定資産の取得による支出	△910	△3,032
その他	△260	△586
投資活動によるキャッシュ・フロー	△72,617	△111,717
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△80,000
長期借入金の返済による支出	△94,996	△69,996
自己株式の取得による支出	—	△293
配当金の支払額	△276,080	△95,081
財務活動によるキャッシュ・フロー	△371,076	△245,370
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8	96
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	493,818	985,404
現金及び現金同等物の期首残高	217,242	54,312
現金及び現金同等物の四半期末残高	711,061	1,039,716

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大による影響に関する会計上の見積りについて)

前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載した新型コロナウイルス感染症の今後の拡大や終息時期等を含む仮定について重要な変更はありません。